

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和4年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進
施策関係課	(環境部)資源循環課・産業廃棄物対策課・収集業務課・戸塚環境センター・朝日環境センター・リサイクルプラザ・鳩ヶ谷衛生センター

●施策の基本方針(目標)	
<p>廃棄物の発生抑制や適正な処理、循環資源利用の促進により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減した循環型社会の形成を推進します。</p>	

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:IV-3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	41.6(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	40.000	42.400	0.000			
指標②	名称	1人1日あたりの廃棄物排出量				単位	g/人・日
	目標値	784(令和7年度)		現状値	826(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	816.000	795.000	0.000			
指標③	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
事業額	事業費	5,329,392	5,548,158	6,326,929	6,587,176	0
	概算人件費	1,277,700	1,368,222	1,426,993	1,426,993	0
	総事業費	6,607,092	6,916,380	7,753,922	8,014,169	0

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 53	単位施策② 54	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和4年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 廃棄物の減量化・再資源化		令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
事業名称	担当課	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
不法投棄対策事業	環境部	30,941	42,557	84,866	82,960	0	52	拡充して実施
	収集業務課	33,970	40,810	65,570	65,570	0		
エコリサイクル推進事業所登録事業	環境部	141	36	50	50	0	50	現状維持で実施
	資源循環課	948	1,617	1,580	1,580	0		
廃棄物対策審議会経費	環境部	275	247	305	305	0	54	現状維持で実施
	資源循環課	3,397	3,234	4,266	4,266	0		
路上喫煙防止事業	環境部	43,615	62,924	82,326	78,435	0	54	現状維持で実施
	資源循環課	16,827	16,401	18,249	18,249	0		
廃棄物減量啓発事業	環境部	11,690	11,365	15,886	15,886	0	54	拡充して実施
	資源循環課	12,561	9,086	8,927	8,927	0		
クリーン推進員事業	環境部	15,458	13,843	16,777	14,773	0	54	現状維持で実施
	資源循環課	4,898	3,465	2,765	2,765	0		
事業系廃棄物対策事業	環境部	701	732	987	1,071	0	56	現状維持で実施
	資源循環課	20,935	22,099	21,251	21,251	0		
一般ごみ収集運搬事業	環境部	925,258	925,258	920,922	939,927	0	52	現状維持で実施
	収集業務課	482,880	479,760	491,760	491,760	0		
粗大ごみ収集運搬事業	環境部	152,561	151,726	163,251	197,619	0	52	現状維持で実施
	収集業務課	3,950	3,850	3,950	3,950	0		
資源物回収事業	環境部	536,333	551,193	555,945	595,577	0	54	現状維持で実施
	収集業務課	355,000	453,400	469,040	469,040	0		
全市一斉クリーンタウン作戦事業	環境部	1,155	1,459	1,594	1,594	0	50	現状維持で実施
	収集業務課	4,582	7,700	7,900	7,900	0		
散乱防止及び環境美化促進事業	環境部	205	196	493	493	0	51	現状維持で実施
	収集業務課	7,584	924	948	948	0		
ごみ処理事業	環境部	1,359	2,110	2,333	2,333	0	52	現状維持で実施
	収集業務課	948	4,466	4,582	4,582	0		
環境啓発事業	環境部	2,315	2,993	2,628	2,628	0	56	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	7,900	7,700	7,900	7,900	0		
リサイクルプラザ健康浴室等運営費	環境部	103,735	92,490	94,073	94,073	0	50	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	5,925	5,775	5,530	5,530	0		
再商品化委託事業	環境部	20,305	22,132	23,106	23,106	0	54	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	2,370	2,310	2,370	2,370	0		
資源物等選別事業	環境部	202,370	204,569	213,189	308,716	0	56	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	22,515	21,945	22,515	22,515	0		
資源回収団体助成事業	環境部	107,788	103,793	106,983	106,983	0	56	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	3,160	3,080	3,160	3,160	0		
3R推進活動等助成事業	環境部	67,349	66,776	68,064	68,064	0	54	現状維持で実施
	リサイクルプラザ	2,765	2,695	2,765	2,765	0		

単位施策名 ② 廃棄物の適正処理の推進										
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性		
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費				
産業廃棄物対策事業	環境部	2,865	3,677	3,730	3,730	0	58	現状維持で実施		
	産業廃棄物対策課	37,525	42,735	45,267	45,267	0				
PCB廃棄物調査指導事業	環境部	12,471	3,146	3,261	3,261	0	60	現状維持で実施		
	産業廃棄物対策課	22,120	15,785	14,378	14,378	0				
車両経費	環境部	44,392	50,263	60,428	51,553	0	54	現状維持で実施		
	収集業務課	3,555	3,465	3,555	3,555	0				
小動物死体収集運搬事業	環境部	7,741	7,540	9,000	9,530	0	52	現状維持で実施		
	収集業務課	6,320	1,540	1,580	1,580	0				
厚生会館施設管理費	環境部	15,042	15,740	21,086	21,086	0	50	現状維持で実施		
	戸塚環境センター	1,975	1,925	1,975	1,975	0				
戸塚環境センタープラント運営費	環境部	909,049	986,474	1,269,412	1,269,412	0	54	現状維持で実施		
	戸塚環境センター	136,354	133,749	136,196	136,196	0				
戸塚環境センターごみ処理事業	環境部	235,272	230,871	292,854	292,854	0	54	現状維持で実施		
	戸塚環境センター	8,374	8,239	7,505	7,505	0				
朝日環境センタープラント運営費	環境部	1,431,446	1,542,090	1,803,679	1,879,496	0	54	現状維持で実施		
	朝日環境センター	18,170	17,710	18,170	18,170	0				
朝日環境センターごみ処理事業	環境部	204,802	193,549	227,064	239,024	0	56	現状維持で実施		
	朝日環境センター	3,950	3,850	3,950	3,950	0				
鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業	環境部	42,699	41,796	43,542	43,542	0	54	現状維持で実施		
	鳩ヶ谷衛生センター	24,596	29,426	29,402	29,402	0				
し尿収集事業	環境部	15,014	14,707	14,718	14,718	0	52	現状維持で実施		
	鳩ヶ谷衛生センター	6,557	6,237	6,399	6,399	0				
し尿処理施設管理費	環境部	185,045	201,906	224,377	224,377	0	54	現状維持で実施		
	鳩ヶ谷衛生センター	15,089	13,244	13,588	13,588	0				

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	不法投棄対策事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	粗大ごみ等の不法投棄及び市の排出ルールが守られないごみ集積所に対し、環境の改善及び保持を図る。	1 職員によるパトロール及び不法投棄物等の回収 2 業務委託による監視・回収 3 「川口市ごみ不法投棄監視ウィーク」における啓発活動	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	1 職員によるパトロール及び不法投棄物等の回収を、土日祝日を除き毎日実施した。 2 業務委託による不法投棄監視を、209日間実施した。 3 業務委託による不法投棄回収を、364日間実施した。 4 「川口市ごみ不法投棄監視ウィーク」において、西川口駅頭にて啓発活動を実施した。	ルール違反が特にひどいごみ集積所において、職員によるパトロールや定曜日以外の回収を実施し、環境の改善及び保持を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	不法投棄処理件数(市民からの通報による)			指標・目標値の説明(算定式)	前年度処理実績の95パーセント				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況	7,632.00	未達成	7,545.00	未達成	7,678.00	未達成			
指標②	名称	不法投棄処理量			指標・目標値の説明(算定式)	前年度処理実績の95パーセント				
	単位	トン	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況	231.08	未達成	232.08	未達成	299.89	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	4目	5細目	3細々目	不法投棄対策事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	43,266	32,616		43,916		84,866	82,960			
決算額(B)=(C)+(D)	40,338	30,941		42,557						
財源※	特定財源(C)	17		9		2,623	3,000			
	一般財源(D)	40,321		30,932		39,934	81,866			
概算人件費(E)	33,970		33,970		40,810		65,570		65,570	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.30	0.00	4.30	0.00	5.30	0.00	8.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	74,308		64,911		83,367		150,436		148,530	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	ルール違反ごみを無くすことは非常に難しいため、週末の夜間に警備会社の警備員による不法投棄監視業務委託や、委託業者による定められた曜日以外における不法投棄回収業務委託や、市職員によるパトロール、バリエーションの設置、チラシの配付などを継続して行う必要がある。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	エコリサイクル推進事業所登録事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市エコリサイクル推進事業所登録実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び登録事業所			市民及び登録事業所		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	地球環境にやさしい事業所を「川口市エコリサイクル推進事業所」として認定し、市民がそれを利用することにより、循環型社会の形成に寄与する。			市内でごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策を積極的に推進している事業所を「川口市エコリサイクル推進事業所」として認定、登録標示を交付し地域に貢献する企業として広く市民に周知する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	川口市市産品フェア2022に参加し、参加事業者、来場者に向けて当該事業の広報を行った。			事業者自ら廃棄物の適正処理及び地球温暖化対策に関する積極的な取り組みがみられた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	イベント等での周知活動			指標・目標値の説明(算定式)	川口市市産品フェア等のイベントにて事業者、来場者等に対し事業周知活動を行う。(1回/年)					
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	0.00 未達成		1.00 達成		1.00 達成		1.00 達成		0.00	
指標②	名称	ホームページでの周知			指標・目標値の説明(算定式)	川口市公式ホームページで「環境にやさしい事業所」として、広く市民に周知					
	単位	年	指標の種別	活動							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	1.00 達成		1.00 達成		1.00 達成		1.00 達成		0.00	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	2目	2細目	2細々目	エコリサイクル推進事業所登録事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	58	141		75		50		50				
決算額(B)=(C)+(D)	45	141		36								
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	45		141		36		50				
概算人件費(E)	948		948		1,617		1,580		1,580			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.12	0.00	0.21	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	993		1,089		1,653		1,630		1,630			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	現状、事業者の自主的な取り組みから登録事業者として認定しているが、今後、事業者と行政との協働による、更なる環境、ごみ問題の改善に向けた取り組みを検討する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	廃棄物対策審議会経費			担当	環境部 資源循環課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	廃棄物対策審議会委員	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項を審議する。	学識経験者、市議会議員、市民、事業者、関係行政機関の職員を委員として、年3回程度の審議会を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・審議会を3回開催 ・路上喫煙防止事業等について審議 ・家庭ごみの自己搬入にかかる予約制及び手数料改定について報告	路上喫煙防止事業について、パブリックコメントの結果も含め、委員から様々な意見を頂戴し、審議ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	1人1日当りごみ排出量(集団資源回収含む)			指標・目標値の説明(算定式)	排出量(集団資源回収を含む)÷人口÷365日 (第7次川口市一般廃棄物処理基本計画)				
	単位	g/人・日	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	814.00	808.00	802.00	796.00	790.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	2目	3細目	1細々目	廃棄物対策審議会経費					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
予算額(A)	406	305	305	305	305							
決算額(B)=(C)+(D)	225	275	247									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0							
	一般財源(D)	225	275	247	305							
概算人件費(E)	2,528	3,397	3,234	4,266	4,266							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.32	0.00	0.43	0.00	0.42	0.00	0.54	0.00	0.54	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,753	3,672	3,481	4,571	4,571							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	法定により審議会を設置し、令和4年度は路上喫煙禁止地区について審議や家庭ごみの自己搬入にかかる予約制及び手数料改定について報告を行った。今後も、一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項や市の施策等について、委員の意見を聴く重要な会議であることから継続して開催する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	路上喫煙防止事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	17	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	川口市路上喫煙の防止等に関する条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民並びに市内滞業者及び通過者	市民並びに市内滞業者及び通過者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	道路等における喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、喫い殻の散乱を防止し、安全で快適な歩行空間及び清潔な地域環境を確保する。	路上喫煙禁止地区に毎日パトロール員を配置し、川口、西川口、東川口、川口元郷、南鳩ヶ谷、鳩ヶ谷及び新井宿の各駅禁止地区にて路上喫煙禁止の啓発と指導を実施。また市民等全体への啓発活動として、毎年12月に同上の各駅禁止地区及び駅周辺でキャンペーンを開催。令和3年6月に「川口市路上分煙基本計画」を策定し様々な分煙対策を実施。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	路上喫煙禁止地区内で、委託による喫煙者への指導、路面シールなどの設置を行い、12月上旬には、川口駅、西川口駅、東川口駅、川口元郷駅、蕨駅東口、南鳩ヶ谷駅、鳩ヶ谷駅及び新井宿駅の川口市域で啓発キャンペーンを実施した。また、鳩ヶ谷駅、新井宿駅に喫煙所を設置し、東川口駅南口の喫煙所の改修を行った。	巡回パトロールによる指導人数は、目標に達成しなかったものの、喫煙所の改修、設置及び啓発活動を継続的に実施した結果、一定の効果は見られている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	路上喫煙禁止地区内での喫煙者指導人数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度指導実績の90%(100人未満切り上げ)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	2,000.00		2,000.00		2,600.00		3,700.00		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	2目	4細目	1細々目	路上喫煙防止事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	15,608	43,623		64,590		82,326		78,435		
決算額(B)=(C)+(D)	15,132	43,615		62,924						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		19,000		
	一般財源(D)	15,132		43,615		62,924		63,326		
概算人件費(E)	10,349		16,827		16,401		18,249		18,249	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.31	0.00	2.35	0.00	2.13	0.00	2.31	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,481		60,442		79,325		100,575		96,684	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	路上喫煙禁止区内での喫煙者指導件数は、健康増進法の改正による原則屋内禁煙の中で、近年喫煙所改修及び設置の実施等の対策を行った駅周辺のその増加数はある程度抑えられている。今後も引き続き路上喫煙者が低減するように、喫煙所の改修、設置及びマナー向上のための啓発手法等の改善を行っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	廃棄物減量啓発事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化		
根拠法令等	川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び事業者	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	資源循環型社会実現のための情報提供を行い、ごみの減量やリサイクルの推進を図ることで、市民一人ひとりにごみ問題や資源の有効利用の理解を深めてもらうため。	<ul style="list-style-type: none"> 環境部広報紙PRESS530を年3回発行 ごみの分別ガイドアプリの公開 家庭ごみの分け方・出し方のパンフレット作成 ごみの減量啓発のパンフレット作成 環境問題に対する周知や啓発活動 	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの分け方・出し方のパンフレット作成 環境部広報紙PRESS530を年3回発行 啓発グッズ等の作成・配布 フードドライブの実施 	環境フォーラムでフードドライブを実施し、食品ロスを減らすなどの市民意識醸成を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	3R月間各種イベントの参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	3R推進月間中に行われるイベント参加者数の過去3年間の平均値(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは行われなかった。)					
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	0.00 未達成		150.00 未達成		750.00 達成					
指標②	名称	家庭ごみ収集日情報メール配信登録者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の数値に600人(50人×12ヶ月)の数値を足したもの					
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	5,440.00 未達成		6,036.00 未達成		6,674.00 達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	2目	5細目	1細々目	廃棄物減量啓発事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	9,176	12,352		13,106		15,886		15,886		
決算額(B)=(C)+(D)	7,157	11,690		11,365						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	7,157		11,690		11,365		15,886		
概算人件費(E)	6,794		12,561		9,086		8,927		8,927	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.86	0.00	1.59	0.00	1.18	0.00	1.13	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,951		24,251		20,451		24,813		24,813	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	現在行っている啓発に加え、脱プラスチックなど全国的に注目度の高い環境問題に関しても広く市民に啓発していく必要がある。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	クリーン推進員事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	クリーン推進員			市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	地域住民と行政が一体となって活動することにより、ごみの排出抑制・減量化・資源化を推進するとともに環境美化を図る。			<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反、不法投棄に関する随時の報告、要望、相談への対応 ・年4回の報告書に対する対応 ・活動に必要な研修会の実施 		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反、不法投棄に関する報告、相談への対応(随時) ・ブロック別研修会の開催 			研修会の開催により、クリーン推進員の理解や意識が深まった。また、行政と市民をつなぐ地域のリーダーとして、啓発活動をした結果、ごみの排出抑制・減量化・資源化が推進され、あわせて環境美化が図れた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	講習会			指標・目標値の説明(算定式)	日頃の活動の意義と資質の向上を図るため、講演会(研修会)を実施する。					
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	0.00	未達成	1.00	達成	1.00	達成				0.00
指標②	名称	ブロック別研修会			指標・目標値の説明(算定式)	市内を10のブロックに分け、活動に密接な研修会を行う。令和2、4年度は、コロナウイルス感染防止の観点から、紙面研修を実施した。					
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	0.00	未達成	1.00	達成	0.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4	款	2	項	2	目	5	細目	3	細々目	クリーン推進員事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度							
予算額(A)	14,799	16,637		14,773		16,777		14,773							
決算額(B)=(C)+(D)	13,917	15,458		13,843											
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0							
	一般財源(D)	13,917		15,458		13,843		16,777		17,538					
概算人件費(E)	3,476		4,898		3,465		2,765		2,765						
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.44	0.00	0.62	0.00	0.45	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00			
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	17,393		20,356		17,308		19,542		17,538						

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	ごみ対策に対する市民のニーズは年々高くなっており、必要不可欠な事業である。クリーン推進員の報告書には、外国籍市民に関するもの、町会・自治会非会員に関するものなど、他課にまたがる要望等が多くみられ、対応の難易度が高くなってきている。今後は関係各課と連携を図りながら効率的で効果的な対応を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	事業系廃棄物対策事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	47	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内で事業活動を行なう全ての事業者	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	廃棄物の発生抑制、再生利用の促進などの適正処理を啓発し、事業者が適正処理をすることにより、地域の生活環境の保全、公衆衛生の向上及び循環型社会の構築を推進する。もって市民の健康で快適な生活を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物収集運搬業(ごみ・粗大、処理困難物、し尿・汚泥)の許可、指導 浄化槽清掃業の許可、指導 事業系一般廃棄物の適正処理の啓発、指導 新規事業所の再生利用対象物、廃棄物保管場所の設置届の受理 	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> NTTタウンページデータによる新規登録事業者、川口商工会議所会員等にリーフレットを合計4,596部配布し適正処理を促した。また、市内掲示板にて、適正処理の啓発を行った。 西川口駅周辺の店舗訪問指導を237件行うとともに、保健所の食品営業許可更新講習会において、廃棄物の適正処理の説明を227件実施した。 	事業系一般廃棄物の適正処理の周知が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	一般廃棄物収集運搬業許可業者契約増減数			指標・目標値の説明(算定式)	市内事業者と一般廃棄物収集運搬業許可業者の契約総件数の5%を次年度の目標値とする。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	306.00		達成		314.00		達成		300.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	2目	5細目	4細々目	事業系廃棄物対策事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	766	813		871		987		1,071				
決算額(B)=(C)+(D)	623	701		732								
財源※	特定財源(C)	22	193		26		184					
	一般財源(D)	601	508		706		803					
概算人件費(E)	29,151	20,935		22,099		21,251		21,251				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.69	0.00	2.65	0.00	2.87	0.00	2.69	0.00	2.69	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,774	21,636		22,831		22,238		22,322				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	市内事業者に対し、事業系一般廃棄物を適正に処理させることが課題である。そこで、事業者が密集している川口駅、西川口駅周辺の飲食店に対し、保健部、上下水道事業部と合同で啓発指導を実施すると共に、市内全事業者に対する啓発活動を行う。また、これまで同様に適正に処理を行っていない事業者に対し、訪問指導を行っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	一般ごみ収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民が排出する家庭系の一般ごみ	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内で排出される家庭系一般ごみを、収集車両により収集し中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	家庭系から排出される一般ごみの収集運搬	適正に業務を行い、公衆衛生の向上に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	4目	4細目	1細々目	一般ごみ収集運搬事業		
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度		
予算額(A)	920,526	925,390		925,390		920,922	939,927		
決算額(B)=(C)+(D)	920,525	925,258		925,258					
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0		
	一般財源(D)	920,525	925,258		925,258		920,922		
概算人件費(E)	482,880	482,880		479,760		491,760	491,760		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	60.00	2.40	60.00	2.40	60.00	4.80	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,403,405	1,408,138		1,405,018		1,412,682	1,431,687		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	収集業務は、通常収集のほか、年末の特別収集も実施した。今後、退職制度の改正による現業職員数の変動を見極め、直営と委託の比率の見直しなどを検討し、確実な収集が実施できるよう計画する。また、事故防止に係る事業を継続していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	粗大ごみ収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民が排出する家庭系の粗大ごみ	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内で排出される家庭系粗大ごみを、予約の受付を行い、戸別収集し中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	家庭から排出される粗大ごみの収集受付及び収集運搬。受付システム更新準備。	粗大ごみの収集受付を行い取り残しのないよう実施した。受付システムの更新準備に着手した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	4目	4細目	2細々目	粗大ごみ収集運搬事業				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	149,846	152,974		154,880		163,251	197,619				
決算額(B)=(C)+(D)	149,846	152,561		151,726							
財源※	特定財源(C)	87,256	83,674		81,014		82,672				
	一般財源(D)	62,590	68,887		70,712		80,579				
概算人件費(E)	3,950	3,950		3,850		3,950	3,950				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	153,796	156,511		155,576		167,201	201,569				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	当事業が、継続的・効率的に実施できるよう調査研究を行う必要がある。また、個人情報を取り扱っていることから、さらなる管理の強化に努める。 なお、粗大ごみ収集手数料については、収集運搬に係る費用と市民の応益負担を視野に入れながら、調査研究する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	資源物回収事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民が排出する家庭系の資源物	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、もって市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内から排出される家庭系資源物を収集車両により収集し、中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	家庭から排出される資源物の収集運搬業務	適正な収集を行い、ごみ減量化・資源の有効活用に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種別	
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種別	
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	4目	4細目	4細々目	資源物回収事業					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
予算額(A)	505,980	536,910	553,299	555,945	595,577							
決算額(B)=(C)+(D)	505,979	536,333	551,193									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0							
	一般財源(D)	505,979	536,333	551,193	555,945							
概算人件費(E)	475,720	355,000	453,400	469,040	469,040							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	59.00	2.60	44.00	2.00	56.00	7.20	56.00	7.20	56.00	7.20
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	981,699	891,333	1,004,593	1,024,985	1,064,617							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	資源物集積所が増加しているため、効率的に収集運搬を行う必要が生じ、適正な人員配置及び配車を行っている。今後も集積所の増加に伴う業務量の増加が懸念されることから、より効果的な収集体制等を検討し実施していく。また資源物の盗難監視については、警備会社、地元警察署と連携をとりながら盗難防止を継続する。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	全市一斉クリーンタウン作戦事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等(市内各町会・自治会及び事業所)			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	1 市民による地域環境の清潔保持の習慣化 2 ごみのポイ捨ての撲滅			1 毎年11月の第3日曜日に、市民が自宅周辺の地域のポイ捨てごみを拾い、市が指定する一時集積所まで持参する。 2 上記方法で回収されたごみを市が回収し、市の施設で処理する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	1 実施日 令和4年11月20日(日) 2 一時集積所 市内102箇所(主に公園等公共施設) 3 上記一時集積所に市職員を1名ずつ配置し、市民が持参したごみをまとめ、回収した。			参加した市民に対し、地域環境の美化に対する意識を高め、そのための活動を習慣化させる動機を持たせることに成功した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	全市一斉クリーンタウン作戦参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	市内各町会・自治会加入世帯数(「広報かわぐち」配布部数による)の約2割				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	14,500.00	未達成	13,730.00	未達成	14,020.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	5 細目	1 細々目	全市一斉クリーンタウン作戦事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	1,228	1,275		1,488		1,594		1,594		
決算額(B)=(C)+(D)	938	1,155		1,459						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	938	1,155		1,459		1,594		1,594	
概算人件費(E)	4,582	4,582		7,700		7,900		7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.58	0.00	0.58	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,520	5,737		9,159		9,494		9,494		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	これまでは市広報誌・ポスター・キャストビジョン・きりり川口情報メール・HPなどによりPRを行ってきた。今後もコミュニティビジョン(第一本庁舎2階・3階)の活用などPR方法について工夫し、より多くの市民が参加することを目指す。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	散乱防止及び環境美化促進事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市と「まち美化促進プログラム」に基づく協定を取り交わした団体			市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	1 快適かつ安全な歩行空間の確保 2 地域環境の清潔の保持			1 市と協定を取り交わした団体が、協定に基づく指定された区域を清掃する。 2 市は、団体に対して、清掃用具の貸与、活動によって発生した廃棄物の回収等によって協力する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	1 市と協定取り交わし済みの団体が、自主的に地域清掃活動を実施した。 2 市は、団体からの要請により発生した廃棄物を回収・処理するとともに、清掃用具の貸与、ボランティア保険への加入によって団体に協力した。			市民による自主的な清掃活動の実施により、地域環境の美化及び市民のポイ捨て防止の意識を向上させることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	環境美化活動団体数			指標・目標値の説明(算定式)	市内10地区に対し各4団体ずつとして設定				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	40.00		40.00		40.00		40.00		0.00
	実績値・達成状況	17.00	未達成	18.00	未達成	18.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	5 細目	2 細々目	散乱防止及び環境美化促進事業			
年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	296		364		378		493		493		
決算額(B)=(C)+(D)	212		205		196						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	212		205		196		493			
概算人件費(E)	7,584		7,584		924		948		948		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.96	0.00	0.96	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,796		7,789		1,120		1,441		1,441		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
51 /60	環境美化団体の意識高揚及び登録団体数の増加のため、これまでの周知方法に加え新たな周知方法の検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	ごみ処理事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定家庭用機器再商品化法、使用済自動車の再資源化等に関する法律					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内ごみステーションに排出された不法投棄物、ルール違反ごみ等のうち、市の施設で処理することができないもの	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市内ごみステーションに排出された不法投棄物のうち、市の施設で処理することができないものの処理ルートを確認し、不法投棄物回収事業の円滑な実施を図るもの	1 「家電リサイクル法」対象の家庭用機器の処理 2 「自動車リサイクル法」対象の自動二輪等の処理 3 自動車部品及びタイヤ、廃金属、消火器等処理困難物の処理	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	1 「家電リサイクル法」対象機器8.9トン进行处理した。 2 その他、自動車タイヤ61本、廃金属等産業廃棄物1970kg、消火器70本进行处理した。	回収された不法投棄物进行处理することにより、市の廃棄物処理施設の空間的余裕を確認し、市による不法投棄物の回収事業を円滑に実施できるようにした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	4目	6細目	1細々目	ごみ処理事業	
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度	
予算額(A)	1,237	1,620		2,367		2,333	2,333	
決算額(B)=(C)+(D)	1,217	1,359		2,110				
財源※	特定財源(C)	0		108		165		
	一般財源(D)	1,217	1,359		2,002		2,168	
概算人件費(E)	948	948		4,466		4,582	4,582	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.12	0.00	0.58	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,165	2,307		6,576		6,915	6,915	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	少量ではあるが、処理しきれない回収物があり、その処理方法を検討して処分する必要がある。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	環境啓発事業			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、市外からの来館者			施設利用者、受講者	
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	資源循環型社会実現のための情報提供を行い、ごみ減量やリサイクルの推進を図るもの。また、地球温暖化防止の取組みについての情報提供も行うもの。			ボランティアスタッフとの協働による啓発施設の管理・運営	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】	
	施設見学、無償リサイクル品橋渡しコーナー、リサイクル家具類販売、おもちゃの病院、リサイクル工作展、ごみまるクイズ、図書コーナー、啓発ビデオ上映など			無償リサイクル品橋渡しコーナーや定例イベント、施設見学や展示による情報提供を実施し、ごみ減量とリサイクルの推進を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	無償リサイクル品橋渡しコーナー来場者数			指標・目標値の 説明(算定式)	リサイクルプラザ3階のリサイクルショップに来場し、品物を持ち帰った人の数、(1日1人1回1点持ち帰り)の年間合計。目標値は平成27年度実績による。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	18,321.00 未達成		26,236.00 未達成		28,852.00 達成				
指標②	名称	リサイクル家具類販売入札者数			指標・目標値の 説明(算定式)	リサイクル家具類販売の入札人数の年間合計。毎月第3土曜日から第4日曜日に実施。目標値は70人×12回。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	895.00 達成		1,111.00 達成		1,017.00 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	8目	3細目	1細々目	環境啓発事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	2,589	2,583		3,353		2,628		2,628		
決算額(B)=(C)+(D)	2,017	2,315		2,993						
財源※	特定財源(C)	630		1,153		1,080				
	一般財源(D)	1,387		1,162		1,840		1,548		
概算人件費(E)	7,505		7,900		7,700		7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.95	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,522		10,215		10,693		10,528		10,528	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	循環型社会の実現、地球温暖化防止などを啓発すべく、関連イベントを継続的に実施するのはもちろんのこと、これらのPRを一層拡充するため、地球温暖化防止活動推進センターと連携し、更なる来館者の増加を図ってゆく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	リサイクルプラザ健康浴室等運営費			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、特にごみ焼却処理施設周辺地域住民(市内、足立区等)	施設利用者(市民、市民以外)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	朝日環境センター余熱利用施設「サンアール朝日」の運営を通して、周辺地域住民を中心とした市民に対し、心身の健康増進、ふれあい交流の場を提供する。	朝日環境センター余熱利用施設「サンアール朝日」の運営及び維持管理 ーサンアール朝日施設内容ー 20mプール、大プール、幼児用プール、ジャグジー浴、露天プール、探暖室、男女浴槽、サウナ、水風呂、日本間(休憩室)等	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	サンアール朝日の営業(268日) 施設/設備の修繕(34件) 濾過機等設備点検(年4回) 各種設備機器のメンテナンス(常時)ほか	令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策として、事前予約制による人数制限等により営業を行い、延べ25,130人の方々に利用していただくことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数年間利用者数(リサイクルプラザ)			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の集計結果。 利用券販売数と回数券利用者数の合計。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	13,541.00	未達成	16,594.00	未達成	25,130.00	未達成			
指標②	名称	年間使用料金			指標・目標値の説明(算定式)	利用券販売額(1年度の合計)				
	単位	千円	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	5,094.24	未達成	6,312.69	未達成	9,798.38	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	8目	4細目	1細々目	リサイクルプラザ健康浴室等運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	100,836	106,509		93,429		94,073		94,073		
決算額(B)=(C)+(D)	100,488	103,735		92,490						
財源※	特定財源(C)	40,924	6,313		11,804		27,820			
	一般財源(D)	59,564	97,422		80,686		66,253			
概算人件費(E)	5,530	5,925		5,775		5,530		5,530		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	106,018	109,660		98,265		99,603		99,603		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	低かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	オープンから20年以上が経過し、設備等の経年劣化による故障が多発してきているため、サービスの提供が滞らないよう、予防的な修繕や改修等を含め維持管理を徹底していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	再商品化委託事業			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	容器包装リサイクル法(容リ法)				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	容器包装廃棄物のうちガラスびん、プラスチック製容器包装、ペットボトル	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	容器包装リサイクル法(容リ法)に基づき、廃棄物のうち容器包装廃棄物の再商品化を指定法人「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」(容リ協会)に委託することにより、廃棄物の減量及び再利用を促進し、もって循環型社会の構築を図る。	分別収集適合物のうち、事業者負担分は容リ協会との無償引取り契約、また市町村負担分については、有償の委託契約を締結、さらに引き取り対象外のカレット残渣についても有償で民間に再商品化を委託する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	ガラスびんの一部を売却し、ガラスびん(茶色の一部、その他の色)、プラスチック製容器包装、ペットボトル(一部)を容リ協会へ引き渡した。ガラスびん分別後のカレット残渣については、民間の事業者に再商品化(路盤材利用)を委託している。	市が容リ協会へ引き渡した結果として、ガラスびん(茶色の一部、その他の色)、プラスチック製容器包装、ペットボトルの再商品化が可能となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	カレット残渣の発生抑制			指標・目標値の説明(算定式)	カレット残渣量(トン) ÷ びん搬入量(トン) = カレット残渣率(%)				
	単位	%	指標の種別	成果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	33.33		33.33	33.33	33.33	33.33	33.33	33.33	33.33
	実績値・達成状況	27.41	達成	24.24	達成	27.50	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	8目	6細目	1細々目	再商品化委託事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	23,081	22,565		22,540		23,106		23,106		
決算額(B)=(C)+(D)	23,055	20,305		22,132						
財源※	特定財源(C)	23,055		22,132		23,106				
	一般財源(D)	0		0		0		0		
概算人件費(E)	2,370		2,370		2,310		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,425		22,675		24,442		25,476		25,476	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	資源の再商品化にあたり、老朽化のため機械による選別では、以前のような精度が保たれなくなっている。ガラスびんを始め各種資源物の選別方法の改善を引き続き検討するとともに、老朽化した機械の更新計画を進める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	資源物等選別事業			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	容器包装リサイクル法(容リ法)				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)	
	廃棄物のうち資源物11品目			市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	容器包装リサイクル法(容リ法)に基づき、廃棄物のうち容器包装廃棄物を再商品化のため指定法人「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」に引き渡し、また入札により民間に売却を行なうことで、廃棄物の減量及び再利用を促進し、もって循環型社会の構築を図る。			プラスチック製容器包装、びん、飲料かん、金属類、ペットボトル、紙類の異物を取り除き、再商品化のため容リ協会へ引渡し及び民間に売却するための選別を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】	
	資源物11品目の手選別を行い、ガラスびん白色と茶色の一部、飲料かん、金属類、ペットボトル、繊維類、紙バック、新聞、雑誌雑紙、段ボール、紙製容器包装を売却した。ガラスびん茶色の一部とその他の色、プラスチック製容器包装、ペットボトルを容リ協会へ引き渡した。			搬入された資源物を選別することで、ガラスびん(茶色の一部とその他の色)、プラスチック製容器包装、ペットボトルの一部を容リ協会へ引き渡し、それ以外の資源物を売却できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	飲料かんリサイクル率の向上			指標・目標値の説明(算定式)	売却量(kg) ÷ 飲料かん搬入量(kg) = リサイクル率(%)				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	83.47	達成	83.01	達成	82.87	達成			
指標②	名称	ペットボトルリサイクル率の向上			指標・目標値の説明(算定式)	売却、引渡(量)(kg) ÷ ペットボトル搬入量(kg) = リサイクル率(%)				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	84.58	未達成	83.16	未達成	83.41	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4款	2項	8目	6細目	2細々目	資源物等選別事業		
年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
予算額(A)	194,438		205,811		206,864		213,189		308,716	
決算額(B)=(C)+(D)	192,793		202,370		204,569					
財源※	特定財源(C)	164,626		187,839		204,569		213,189		
	一般財源(D)	28,167		14,531		0		0		
概算人件費(E)	22,910		22,515		21,945		22,515		22,515	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.90	0.00	2.85	0.00	2.85	0.00	2.85	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	215,703		224,885		226,514		235,704		331,231	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	ペットボトルは、中身の飲料やキャップ、ラベルを取り除いたものでなければ、資源物として引き渡すことが出来ないため、市民への周知を図るべくプレス530への掲載、施設見学者への呼びかけを継続的に実施する。並行して老朽化した機械の更新計画を進める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	資源回収団体助成事業			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	川口市集団資源回収団体助成金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	集団資源回収登録団体(町会・自治会・子供会・婦人会・PTA等)	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物の減量及び再資源化を促進し、ごみ問題に対する市民の意識の向上に資すること。	資源物(紙類、繊維類)を各団体で回収し、回収した資源物1kgに対して10円を助成している。申請は3か月ごと年4回に分けて申請する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	各団体が回収した資源物の回収量1kgに対して10円を助成した。	廃棄物の減量及び再資源化が促進され、ごみ問題に対する市民の意識の向上とごみ処理に係る経費の削減に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	団体登録数			指標・目標値の説明(算定式)	交付対象となる団体数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	435.00		430.00		425.00		425.00		425.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	8目	6細目	3細々目	資源回収団体助成事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	114,388	115,880		106,289		106,983		106,983		
決算額(B)=(C)+(D)	111,033	107,788		103,793						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	111,033		107,788		103,793		106,983		106,983
概算人件費(E)	3,950		3,160		3,080		3,160		3,160	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	111,033		110,948		106,873		110,143		110,143	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	回収団体の人員不足及び高齢化により登録団体数が減少傾向だが、地区内の回収事業が継続できるようNPO団体等の紹介を行っている。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	3R推進活動等助成事業			担当	環境部 リサイクルプラザ	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	川口市3R推進活動等助成金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	町会及び自治会 (地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条の2第1項に規定する地縁による団体のうち、市長が認めるもの)	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	地域住民が相互に協力して行う3R推進活動等に対して助成することにより、廃棄物問題に対する市民の意識の向上を図り、もって循環型社会の構築に資するとともに、地域コミュニティ意識の醸成に寄与することを目的とする。	地域住民が相互に協力して行う3R推進活動(一般廃棄物の減量化、再使用及び再資源化の推進に資する活動)並びに一般廃棄物の適正処理の推進、集積所の整備及び美化、不法投棄の防止、地域環境の美化に資する活動に対して、助成を行った。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	町会・自治会1団体に対して、加入世帯数×400円を助成(千円未満は切捨て)	市民の廃棄物問題に対する意識の向上、循環型社会の構築及び地域コミュニティ意識の醸成を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	交付団体数			指標・目標値の説明(算定式)	交付対象となる町会・自治会の団体数				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	231.00		230.00		231.00		230.00		230.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	8目	7細目	1細々目	3R推進活動等助成事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	68,925	67,430		66,776		68,064		68,064		
決算額(B)=(C)+(D)	67,370	67,349		66,776						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	67,370		67,349		66,776		68,064		68,064
概算人件費(E)	3,555		2,765		2,695		2,765		2,765	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	70,925		70,114		69,471		70,829		70,829	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	本事業を通じて、廃棄物問題に対する更なる市民の意識向上とごみの減量化・地域の環境美化への実効性を高めるため、3Rの推進について継続的に情報の発信と提供を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	産業廃棄物対策事業			担当	環境部 産業廃棄物対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5380	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、使用済自動車の再資源化等に関する法律、川口市廃棄物処理施設の設置等の手続に関する条例、川口市土砂の堆積等の規制に関する条例				

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理業者、産業廃棄物排出事業者 その他、産業廃棄物に関する事業者 自動車リサイクル法登録業者・許可業者 土砂を堆積する事業者 	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物等の適正処理及び処理施設等の適正な維持管理を確保することにより、良好な生活環境の保全を図る。 土砂を堆積する行為に対して、必要な規制を行うことで無秩序な土砂堆積を防止し、市民の生活の安全の確保と、良好な生活環境の保全を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 許可申請等に対する審査 不適正処理の防止のための指導 土砂の堆積行為に係る規制 	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理業者等の許可申請等に対する審査 産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理の指導 土砂の堆積に係る許可申請、定期報告等に対する審査 産業廃棄物等の不適正処理や土砂の堆積に関する監視・コントロール、立入検査、指導、及び、啓発パンフレット作成 	産業廃棄物等の不適正処理の未然防止や住民との紛争予防、施設等の適正な維持管理を確保することにより生活環境に大きく影響を与える事案の発生を防止できた。また、土砂の堆積に係る規制を行うことで、無秩序な土砂の堆積を防止できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	立入検査実施件数			指標・目標値の説明(算定式)	産業廃棄物処理業者や土砂の堆積事案等に係る立ち入り検査の実施件数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	578.00	達成	668.00	達成	1,012.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	3目	1細目	2細々目	産業廃棄物対策事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	4,098	3,522		4,506		3,730		3,730				
決算額(B)=(C)+(D)	3,725	2,865		3,677								
財源※	特定財源(C)	946	2,681		1,072		367					
	一般財源(D)	2,779	184		2,605		3,363					
概算人件費(E)	42,265	37,525		42,735		45,267		45,267				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.35	0.00	4.75	0.00	5.55	0.00	5.73	0.00	5.73	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	45,990		40,390		46,412		48,997		48,997			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	廃棄物処理法に基づく申請に先立ち、手続条例に係る関係住民への周知等を事業計画者に適正に実施させることで、紛争予防に寄与する。また、産業廃棄物、土砂堆積に係る定期的な監視・コントロールを実施することで、生活環境に大きく影響を与える事案の発生を防止する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	PCB廃棄物調査指導事業			担当	環境部 産業廃棄物対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5380	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 9 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進
根拠法令等	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	PCB廃棄物等を所有している事業者 電気工事事業者	市民等 PCB廃棄物を保有している事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	高濃度のPCB廃棄物は、その種類ごとに令和3年度または令和4年度末までに、また、低濃度のPCB廃棄物は令和9年度末までに処分しなくてはならない。そのため、処分対象者を把握し指導することで、期限までの適正処理を図る。	PCB廃棄物の保有状況の把握及び適正処理の指導	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> PCB廃棄物等の保有状況の把握(掘り出し調査) PCB特措法に係る届出等の受理 PCB廃棄物保管事業者等への立入検査等による適正処理の指導 パンフレットの作成及び関係団体への配布等による啓発 	PCB廃棄物の保有者を把握し指導したことで、PCB廃棄物の適正処理が進んだ。また、PCB廃棄物の期限内適正処理について広く啓発したところ、県及び国から提供されたリストに掲載されていない新たなPCB廃棄物保有者の掘り出しに繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	PCB廃棄物所有状況調査の進捗(変圧器等)			指標・目標値の説明(算定式)	PCB廃棄物の所有が疑われるものの、所有状況を把握出来ていない事業者の件数(変圧器・コンデンサ)(H30当初 約1,300件)(R1 P協データ 600件分が増加)の減。				
	単位	件(以下)	指標の種別	成果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値					100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	実績値・達成状況					303.00	未達成	0.00	達成	0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	3 目	1 細目	4 細々目	PCB廃棄物調査指導事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	23,029	13,724		4,353		3,261		3,261		
決算額(B)=(C)+(D)	20,315	12,471		3,146						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	20,315		12,471		3,146		3,261		
概算人件費(E)	14,220		22,120		15,785		14,378		14,378	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	2.80	0.00	2.05	0.00	1.82	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	34,535		34,591		18,931		17,639		17,639	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	高濃度の変圧器・コンデンサの処分期限が経過したため調査を終了とするが、新たに所有者を把握した際には随時対応する。 また、低濃度PCB廃棄物の処分期限内の処理を達成するため、立入調査などにより効率的かつ積極的に処理責任者に対し処理を促していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	車両経費			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	直営の車両に係る管理、運営事業	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般ごみ、資源物に係る収集運搬	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	当該事業は公共性が高く、適正な業務の施行には安定かつ継続的な収集体制の確保と維持が必要不可欠であり、廃棄物の収集を円滑、効率よく安全に行うために、車検及び点検整備等を実施。	市民全体を対象としている事業のため、公平性に関しては適正である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	塵芥車等の買替台数			指標・目標値の説明(算定式)	塵芥車買替計画に基づく買替台数(令和2年度～6年度該当なし)				
	単位	台	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	3 細目	1 細々目	車両経費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	46,924	44,393		50,264		60,428		51,553		
決算額(B)=(C)+(D)	41,789	44,392		50,263						
財源※	特定財源(C)	480		480		480				
	一般財源(D)	40,829		43,912		49,783		59,948		
概算人件費(E)	3,555		3,555		3,465		3,555		3,555	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	45,344		47,947		53,728		63,983		55,108	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	平成23年度から、塵芥車買替計画に基づき、車両の入替を行っている。環境や安全に配慮した車両を導入していくほか、災害等に適正な運用ができるよう、燃料区分のバランスを考慮しながら入替を行っている。令和元年度で買替計画が終了し、令和7年度から第二次塵芥車買替計画を開始する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	小動物死体収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民や通行者から、道路上等にある小動物の死体の通報を受付するとともに、収集運搬を行う。	市民及び市内通行者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内から寄せられる通報や連絡を受け、小動物の死体を収集し、中間処理施設へ運搬する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	犬・猫等の小動物死体収集	速やかに対応し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	4 細目	3 細々目	小動物死体収集運搬事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	7,686	8,703		9,283		9,000	9,530			
決算額(B)=(C)+(D)	7,685	7,741		7,540						
財源※	特定財源(C)	230	241		245		232			
	一般財源(D)	7,455	7,500		7,295		8,768			
概算人件費(E)	6,320	6,320		1,540		1,580	1,580			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.80	0.00	0.80	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,005	14,061		9,080		10,580	11,110			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	道路上など、公共施設からの収集に関する案件の他、庭先など私有地からの収集に関する案件が増えており、事前の聞き取りや十分な説明を行うことで市民ニーズに対応していく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	厚生会館施設管理費			担当	環境部 戸塚環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	川口市厚生会館設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公社)シルバー人材センター	市民(主に戸塚環境センター周辺の地域住民)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	戸塚環境センター焼却炉の余熱を利用し、市民の健康保持と福祉の増進に寄与するとともに、地域住民還元施設として設置運営	入浴施設及び交流スペースを提供している。施設を利用する際、大人220円、60歳以上100円、小人100円の使用料を徴し、月曜祝日を除き、午前10時から午後5時開館	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	入浴施設の運営・修繕。	エネルギーの再利用を通じて、周辺地域住民にごみ処理施設への理解を深めてもらった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(厚生会館)			指標・目標値の説明(算定式)	実績による入館者数を目標値とするもの。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	30,000.00		8,000.00		8,000.00		8,000.00		8,000.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	7目	2細目	2細々目	厚生会館施設管理費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	39,788	17,527		17,228		21,086		21,086		
決算額(B)=(C)+(D)	26,643	15,042		15,740						
財源※	特定財源(C)	865		1,053		1,175				
	一般財源(D)	14,177		14,687		19,911				
概算人件費(E)	632		1,975		1,925		1,975		1,975	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,275		17,017		17,665		23,061		23,061	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	施設が老朽化しているため、戸塚環境センター東棟の建替に伴って、新しい地域住民還元施設が出来るまで修繕しながら使用していく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	戸塚環境センタープラント運営費			担当	環境部 戸塚環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ごみ焼却施設・破砕機設備	家庭系廃棄物を排出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	廃棄物を公衆衛生や生活環境の保全上、支障が生じないように処理することを目的とする。	市内の家庭や事業者から排出される廃棄物を安定的かつ適正に処理するため、ごみ焼却施設・破砕機設備の適正な運転管理及び保守管理を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	ごみ焼却施設・破砕機設備の適正な運転管理 ごみ焼却施設・破砕機設備の適正な点検整備	ごみの処理を停滞させることなく、安全かつ安定的に運転することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ごみ処理量			指標・目標値の説明(算定式)	ごみ焼却量の実績のみ(朝日環境センターとごみ焼却を補完し合っているため、ごみ焼却量の目標値設定は不可能)				
	単位	トン	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
	実績値・達成状況	60,308.00	-	61,499.00	-	54,639.78	-			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	4 細目	1 細々目	戸塚環境センタープラント運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	932,886	927,483		995,548		1,269,412		1,269,412		
決算額(B)=(C)+(D)	889,108	909,049		986,474						
財源※	特定財源(C)	643,387	908,440		687,438		440,775			
	一般財源(D)	245,721	609		299,036		828,637			
概算人件費(E)	134,774	136,354		133,749		136,196		136,196		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	17.06	0.00	17.26	0.00	17.37	0.00	17.24	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,023,882		1,045,403		1,120,223		1,405,608		1,405,608	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	本施設は、老朽化しており、適切な運転管理と点検整備を実施することで、一般廃棄物を安全かつ安定的に処理していかなければならない。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	戸塚環境センターごみ処理事業			担当	環境部 戸塚環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ごみ焼却施設から搬出される焼却灰等	家庭系廃棄物を排出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物の適正処理	焼却及び破砕による中間処理後の残渣物の再資源化処理及び最終処分	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	埋立による最終処分を削減するため、焼却灰等を溶融スラグや建設資材にする等、再資源化を推進。	複数の最終処分場や再資源化処理プラントと委託契約を締結し、中間処理後の残渣物について安定的な処分を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	焼却灰・残渣金属の再資源化推進			指標・目標値の説明(算定式)	再資源化量の実績のみ(朝日環境センターとごみ焼却を補完し合っているため、再資源化の目標値設定は不可能)				
	単位	トン	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	7,138.76	-	7,155.24	-	5,775.43	-			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	7目	6細目	1細々目	戸塚環境センターごみ処理事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	237,542	256,489		272,401		292,854	292,854					
決算額(B)=(C)+(D)	225,176	235,272		230,871								
財源※	特定財源(C)	3,731	3,224		3,101		3,101					
	一般財源(D)	221,445	232,048		227,770		289,753					
概算人件費(E)	8,374	8,374		8,239		7,505	7,505					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.06	0.00	1.06	0.00	1.07	0.00	0.95	0.00	0.95	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	233,550	243,646		239,110		300,359	300,359					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	残渣物の再資源化を推進することが課題。 今後も残渣物の再資源化研究を進め、安定的かつ適正なごみ処理を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	朝日環境センターごみ処理事業			担当	環境部 朝日環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ごみ焼却施設から搬出される資源物・焼却灰等	家庭系廃棄物を排出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を公衆衛生や生活環境の保障上支障が生じないように処理することを目的とする。	ごみ焼却施設から搬出される資源物の運搬及び焼却灰等の運搬・処分	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	ごみ焼却施設から資源物である溶融スラグの搬出 ごみ焼却施設から搬出される焼却灰等の運搬・埋立処分 (令和4年度ごみ埋立処分実績:4,002.59t)	安全に運搬及び埋立処分を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	7目	6細目	2細々目	朝日環境センターごみ処理事業				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	207,603	223,535		213,525		227,064	239,024				
決算額(B)=(C)+(D)	203,424	204,802		193,549							
財源※	特定財源(C)	0		0		0	7,496				
	一般財源(D)	203,424		204,802		193,549	219,568				
概算人件費(E)		3,950		3,950		3,850	3,950	3,950			
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		207,374		208,752		197,399	231,014	242,974			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	最終処分場を有しない本市においては、他区域における処分場の確保が大きな課題であるが、各場の残余期間等当面の問題はなく、引き続き安定的な最終処分の実施に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	朝日環境センタープラント運営費			担当	環境部 朝日環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ごみ焼却施設	家庭系廃棄物を搬出する市民 事業系一般廃棄物を排出する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	廃棄物を公衆衛生や生活環境の保全上支障が生じないように処理することを目的とする。	市内の家庭や事業者から排出される廃棄物を安定的かつ適正に処理するため、ごみ焼却施設の適正な運転管理及び保守管理を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	ごみ焼却施設の適正な運転 ごみ焼却施設の適正な点検整備 (令和4年度ごみ焼却処分実績:89,922.60t)	ごみの処理を停滞させることなく、安全かつ安定的に運転することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	7目	5細目	1細々目	朝日環境センタープラント運営費				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	1,400,514	1,450,872		1,582,194		1,803,679	1,879,496				
決算額(B)=(C)+(D)	1,358,427	1,431,446		1,542,090							
財源※	特定財源(C)	733,665	766,396		720,592		743,092				
	一般財源(D)	624,762	665,050		821,498		1,060,587				
概算人件費(E)		18,170	18,170		17,710		18,170	18,170			
従事職員人数(人)		常勤	再任用	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,376,597		1,449,616		1,559,800		1,821,849		1,897,666	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	稼働開始から20年を経過したことから各設備の劣化が激しく、大規模改修工事までの間も相当の補修費がかかる見込みであるが、本事業で実施する日常の適正な運転管理と適切な定期点検整備により、コストを最小限にとどめる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業			担当	環境部 鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	粗大ごみから分別された資源物等	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の一般廃棄物のうち粗大ごみを自己搬入する川口市民 ・事業系一般廃棄物のうち粗大ごみを自己搬入する市内事業者 	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみを受理、分別、運搬し廃棄物の適正な処理を行う。 ・粗大ごみを公衆衛生や生活環境の保全上支障が出ないよう処理することで市民の健康で快適な生活を確保する。 ・粗大ごみの再生利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの受理、分別、運搬 ・資源物の売却 	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が自己搬入した粗大ごみを分別し、再生利用できないものは、市内の環境センターに運搬し処分した。 ・鉄やアルミなどの資源物を市内の専門業者に売却した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみを受理した重量 1604.86トン ・資源物(鉄、アルミ、ケーブル類)の売却 重量 242.54トン 売却額 1,033,153円 	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	資源物(鉄、アルミ、小型家電)の売却			指標・目標値の説明(算定式)	粗大ごみから分別した資源物を市内の専門業者に売却し、売上げ金を市政の財源に充てる。 目標値・・・該当年度の歳入予算額				
	単位	金額(円)以上	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	980,725.00	未達成	1,239,228.00	達成	1,033,153.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	7目	6細目	3細々目	鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	41,187	43,201		42,477		43,542	43,542					
決算額(B)=(C)+(D)	41,002	42,699		41,796								
財源※	特定財源(C)	981	1,239		1,033		1,067					
	一般財源(D)	40,021	41,460		40,763		42,475					
概算人件費(E)	25,465	24,596		29,426		29,402	29,402					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.35	4.00	1.24	4.00	2.38	3.00	1.38	5.00	1.38	5.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	66,467	67,295		71,222		72,944	72,944					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	資源物売却は市場が不安定であることから、売却できる品数減少、価格低下が続いている。今後も廃棄物の分別を徹底し、資源物確保を強化する。また、自己搬入の増加から、令和5年2月より自己搬入の予約制を導入し、場内外の車両整理、搬入物の円滑な内容確認を図った。今後も利用者が安全で効率的に搬入できるよう対策を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	し尿収集事業			担当	環境部 鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・市内のし尿汲取り世帯、事業者 ・市内のし尿汲取り実施業者(し尿処理事業許可業者)	・市内のし尿汲取り世帯、事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	・市民の生活環境や公衆衛生に支障が生じないよう、し尿を収集運搬し適切に処理する。 ・水害など災害時に市民の環境衛生を保持するため応急汲取りを実施する。 ・し尿汲取り世帯の費用負担を軽減し、業者を育成する。	・委託業者による、し尿収集運搬(鳩ヶ谷地区、朝日3丁目) ・し尿処理事業許可業者への助成金の交付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・委託業者による、し尿収集運搬業務(鳩ヶ谷地区、朝日3丁目) ・し尿処理事業許可業者への助成金交付 ・し尿汲取り世帯に対する、し尿収集運搬手数料の納付管理、督促	・し尿収集運搬手数料の納付額(滞納繰越分を含む) 1,781,590円 ・市民の費用負担軽減のため、し尿処理事業許可業者14者へ助成金(応急汲取り分を含む)を交付 4,707,120円	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	し尿収集運搬手数料の納付額			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度のし尿収集運搬手数料の歳入予算額(滞納繰越分を含む)に対して90%以上の納付を目指す。				
	単位	円以上	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	1,858,000.00		1,678,500.00		1,459,800.00		1,299,800.00		0.00
	実績値・達成状況	2,050,340.00	達成	1,909,320.00	達成	1,781,590.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位				指標の種別					
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	9目	3細目	1細々目	し尿収集事業				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	16,163	15,589		15,234		14,718		14,718			
決算額(B)=(C)+(D)	15,497	15,014		14,707							
財源※	特定財源(C)	2,050	1,909		1,782		1,444				
	一般財源(D)	13,447	13,105		12,925		13,274				
概算人件費(E)		7,505	6,557		6,237		6,399		6,399		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.95	0.00	0.83	0.00	0.81	0.00	0.81	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		23,002		21,571		20,944		21,117		21,117	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	し尿収集事業は、災害時等には市民の健康と公衆衛生の保全のため重要となるが、下水道の普及により汲取り世帯が減少し、し尿処理許可業者の収集効率の低下と負担増加が問題となっている。し尿処理事業助成金の交付等により、事業が安定して継続できるよう対策を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	し尿処理施設管理費			担当	環境部 鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・市内で発生するし尿、浄化槽汚泥 ・川口市一般廃棄物収集運搬業許可業者(し尿・浄化槽汚泥)	・市内のトイレ(し尿汲取り方式、浄化槽方式)を利用する全ての市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	・市内から収集したし尿、浄化槽汚泥を適切に処理し、公衆衛生や生活環境の保全上支障が出ないよう、市民の健康で快適な生活を確保する。 ・し尿、浄化槽汚泥処理に伴う環境への負荷を削減する。	・し尿処理施設の運転管理、維持管理 ・し尿処理施設周辺の環境衛生の保全 ・処理後発生する脱水汚泥の肥料・堆肥への再資源化	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・許可業者が市内から収集した、し尿、浄化槽汚泥を処理し、無色透明できれいな処理水を河川に放流した。 ・処理後発生する脱水汚泥を専門業者(市外)へ運搬し、再資源化した。 ・水質などの環境測定を定期的実施した。	・し尿、浄化槽汚泥の搬入量 35,488.36キロリットル、再資源化業者への搬出量 795.63トン ・水質、騒音、振動、臭気、放射性セシウムの環境測定の結果は、全て法定基準値内で適正であった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	脱水汚泥の含水率(年間平均)			指標・目標値の説明(算定式)	廃棄物として排出する量を減らすため、また再資源化に適した状態にするため、脱水汚泥の含水率(年間平均)75%以下を目指す。				
	単位	%以下	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	74.50		75.40		75.90		75.00		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	2項	9目	2細目	2細々目	し尿処理施設管理費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	220,588	190,780		208,275		224,377		224,377		
決算額(B)=(C)+(D)	209,346	185,045		201,906						
財源※	特定財源(C)	145		165		169				
	一般財源(D)	209,201		201,741		224,208				
概算人件費(E)	15,405		15,089		13,244		13,588		13,588	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.95	0.00	1.91	0.00	1.72	0.00	1.72	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	224,751		200,134		215,150		237,965		237,965	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	施設のリニューアル工事から10年以上が経過し、機器の経年劣化による不具合発生が懸念される。計画的に各機器の点検整備を行うと共に、改修工事が必要なものについてはし尿処理施設改修事業で計画的に整備を進め、故障や事故による搬入停止等を未然に防ぐ。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施